

## 令和5年度農業委員会の農地利用の最適化の推進の状況その他事務の実施状況の公表

都道府県名： 大阪府

農業委員会名： 羽曳野市農業委員会

## I 農業委員会の状況(令和5年4月1日現在)

※ 「I 農業委員会の現況」については、別紙様式1の内容を転記

## 1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 令和2年7月20日

任期満了年月日 令和5年7月19日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	14	14
認定農業者	—	3
認定農業者に準ずる者	—	1
女性	—	0
40代以下	—	0
中立委員	—	1

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	5	5	6

## 2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	563
農業経営体数	266

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数(人)
基幹的農業従事者数	345
女性	132
40代以下	44

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経営体数(経営体)
認定農業者	33
基本構想水準到達者	53
認定新規就農者	8
農業参入法人	0
集落営農経営	0
特定農業団体	0
集落営農組織	0

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑	計			
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	174	261				435

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

## II 最適化活動の実施状況

### 【農業委員会の実績及び点検・評価結果】

※ 「現状及び課題」及び「目標」については、別紙様式1の内容を転記

#### 1 最適化活動の成果目標

##### (1) 農地の集積

###### ①現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)		これまでの集積面積(B)		集積率(B)／(A)	
	435	ha	75	ha	17.2%	%
課題	農家の高齢化や後継者不足、燃料、原材料費の高騰傾向となる社会情勢の中で、農地集積の進捗はよくない状況である。認定農業者等の担い手の確保と、法人を含む安定的な農業経営となる経営体への利用集積の推進が必要である。					

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

###### ②目標

農地の集積の目標年度	5	年度	集積率	25	%
今年度の新規集積面積	33	ha	農地面積(C)	435	ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	108	ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)／(C)	24.8%	%

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

###### ③実績

今年度の新規集積面積	3.9	ha	農地面積(F)	435	ha
今年度末の集積面積(累計)(G)	79	ha	今年度末の集積率 (H)=(G)／(F)	18.1%	%
目標に対する達成状況(H)／(E)	73.1%	%			

農業委員会の点検結果	目標までは届かなかったが、委員、市農政担当からの周知もあり、着々と集積面積を増やすことが出来た。
------------	--

※1 今年度の新規集積面積は、当該年中の集積面積(フロー)を記入

※2 今年度末の集積面積(累計)は、年度末時点の集積面積(ストック)を記入

#### (2) 遊休農地の発生防止・解消

##### ①現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積	うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	0.8	0.5	0.3
	ha	ha	ha
農業者の高齢化・兼業化が進み、後継者が不足している。			

##### ②目標

###### ア 既存遊休農地の解消

###### a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	0.5	ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積(C)	0.1	ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

b 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	0.3	ha
--------------------------	-----	----

黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	対象者への意向調査の実施と、非農地化への方向性も視野に入れた具体的な方策について、委員や大阪府、農業会議、みどり公社等の専門家も取り入れた形での相談体制を検討する。	
-------------------------	--	--

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	0.03	ha
---------------------------	------	----

③実績

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

今年度の緑区分の遊休農地の解消実績面積(D)	0	ha
今年度の目標に対する達成状況(D)/(C)	0.0%	%

b 黄区分の遊休農地の解消

黄区分の遊休農地の解消に向けた工程表の策定状況	未策定
-------------------------	-----

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消実績面積	0.0	ha
---------------------------	-----	----

④その他

農地の利用状況調査	調査実施時期		調査結果取りまとめ時期	
	令和5年11月		令和6年1月	
1号遊休農地の面積	0.96	ha	うち緑区分の遊休農地	0.66 ha
			うち黄区分の遊休農地	0.29 ha
農地の利用意向調査	調査実施時期		調査結果取りまとめ時期	
	未実施		未実施	

農業委員会の点検結果	遊休農地の現状の確認は行うことが出来た。解消に向けての取り組みを積極的に行えていないのが現状である。
------------	--

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	令和2年度新規参入者	令和3年度新規参入者	令和4年度新規参入者
		1 経営体 0.3 ha	1 経営体 1.3 ha
課題	新規参入者にとって農地及び作業場等の確保が困難である。また、経営確立までに多額な農業経費がかかるため生活を安定させることが難しい。		

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体に集積した農地面積を記入

②目標

権利移動面積	令和元年度	令和2年度	令和3年度	平均
		4.2 ha	3.9 ha	5.6 ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積(A)	1.0 ha			

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。))及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

③実績

新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表した農地の面積(B)		0.08	ha
公表URL		(その他の公表方法)	窓口にて公表
目標に対する達成状況(B)/(A)		8.0%	%
(参考)新規参入者の参入状況		参入経営体数	2 経営体
		取得農地面積	0.3 ha

農業委員会の点検結果	目標到達とはいかなかったが、経営体・面積を増やすことが出来た。
------------	---------------------------------

※ 参入経営体数は、農地を取得して新たに農業に参入した経営体数を記入

2 最適化活動の活動目標

(1) 推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	6 日/月	最適化活動を行う農業委員の人数	13	人
		農地利用最適化推進委員の人数	5	人

(2) 活動強化月間の設定

①目標

活動強化月間の設定回数	3 回
-------------	-----

取組時期	取組項目	強化月間の内容
8月ごろ	①、②、③	新たな体制となる農業委員、推進委員及び市農政担当、大阪府をはじめとする関連団体との意見交換会により、今後の取組み方針等、施策を検討する。
11月ごろ	②	農地パトロールで得られた利用状況の調査結果を基に、対象者の意向調査を実施し、遊休農地解消に向け委員と協議検討する。
2月ごろ	①	二期目の地域計画策定への目標地図の素案作成に向けて、地元農業者と地域農業の将来像について話し合いを実施する。

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の発生防止・解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

②実績

活動強化月間の設定回数	6 回
-------------	-----

取組時期	取組項目	強化月間の結果
10月～3月	①、②、③	地域計画策定に向けて、地元農業者と地域農業の将来像について話し合いを実施。
11月	①、②、③	農地パトロールを実施。遊休農地を活用した集積・新規参入の推進について協議検討。

※ 強化月間の結果欄は、強化月間中に行った具体的な取組の内容とその結果生じた効果等の内容を記入

### (3)新規参入相談会への参加

#### ①目標

新規参入相談会への参加回数	1 回
---------------	-----

開催時期	随時	相談会名	「フレッシュ'はびき農'」セミナー
参加者数	若干名	開催場所	市役所内
相談会の内容	関係機関(大阪府、農業会議、みどり公社、JA、大阪農業大学校)との連携によるセミナー開催		
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入  
(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)

※2 複数の新規参入相談会に参加する場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する

#### ②実績

新規参入相談会への参加回数	2 回
---------------	-----

開催時期	令和5年9月、12月	相談会名	窓口相談
参加者数	3名	開催場所	羽曳野市役所
相談会の内容	新規参入者が営農出来る場所のご紹介。農地の貸付を希望する農家との結びつけを実施。		
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加した相談会の数を記入  
(参加者数によらず、1名以上が参加した新規参入相談会ごとに1回とする)

※2 複数の新規参入相談会に参加した場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する(評価点欄は追加しない)

#### 目標の達成状況の評語

目標を上回る回数の相談会を実施出来た。参加者の新規参入も実現出来たので、成果があった。
---

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語を記入

#### 【推進委員等の点検・評価結果】

評語	推進委員等の人数
目標に対し期待を大幅に上回る結果が得られた	
目標に対し期待を上回る結果が得られた	
目標に対して期待どおりの結果が得られた	
目標に対して期待を(やや)下回る結果となった	18

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語ごとの該当する推進委員等の人数を記入